

2011年1月7日

兵庫県立大学大学院
会計研究科をご支援頂いている皆様

兵庫県立大学大学院
会計研究科長

平成22年度公認会計士試験の結果および就職の状況についての所感

このたび、平成22年度公認会計士試験の結果が発表されましたので、本研究科の状況を報告します。

本研究科では、短答式試験に19人（1期生：2人、2期生：14人、3期生：1人、4期生：2人）が合格しました。このうち、1期生と2期生が免除制度を利用しています。そして、論文式試験に8人（2期生：5人、3期生：2人、4期生：1人）が合格しました。

今年度の試験は、短答式試験の願書提出者25,147人に対し、最終合格者1,923人であり、合格率は7.6%でした（旧第2次試験合格者等を除く）。これは、昨年度の9.4%と比べても、一層低い結果でした。このような中、最終的に8人が合格したことは、学生諸君の努力と研鑽はもとより、大学関係者、さらに本研究科の教育にさまざまな形でご協力いただいている方々のおかげと感謝しております。

本研究科の開設後4年が経とうとしておりますが、本研究科からの最終合格者は、合計23人となりました。もとより公認会計士試験の合格は、本研究科が目指している会計専門職業人養成の一側面にすぎませんが、このような形で教育成果を公表することは、社会的責任という意味からも重要なことであると考えています。

次に、合格者の就職状況ですが、新聞等で報道されるように、昨年度以上に厳しい状況にあります。本研究科においても初めて、監査法人に就職を希望しながらも、叶わなかった合格者がありました。経済環境が激変した影響もあるとはいえ、今後、教育プログラムや修了者を含めたキャリア支援を一層充実させる必要があると考えています。すでに研究科をあげて検討を始めており、平成23年度から開始する取り組みもあります。本研究科は、「現場で生きる実践知と健全な判断力をもつ会計プロフェッションの育成」という目的達成に、最大限の努力を払う所存です。皆様におかれましては、今後とも、本研究科に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。